

自分のために家族のために 受けよう！がん検診

昔は不治の病といわれていた「がん」。最近では、医療技術の進歩により、治る確率が高くなってきています。自分の健康を守るためには、定期的ながん検診が大切です。今月号では、町で実施している「がん検診」について紹介します。



健康増進課 健康支援係
さいとう みか
齋藤 美香 保健師長



健康増進課 健康支援係
いしかわ こうや
石川 皓也 副主査

町で行っている「がん検診」にはどんな種類がありますか？

町では、胃がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がんの5つのがん検診を行っており、**それぞれ無料で受けることができます。これらのがんは早期に発見でき、さらに治療を行うことで死亡率が低下することが科学的に証明**されています。

各がん検診の対象者を教えてください。

各がん検診の対象者は右表のとおりです。申し込んでいない人で検査を希望される場合は、町役場健康増進課まで気軽に問い合わせください。

検診の名称	対象者
胃がん、大腸がん	40歳以上の男女
肺がん	40歳～64歳の男女
子宮頸がん検診	20歳以上の女性で、前年度町の子宮頸がん検診を受けていない人（2年に1回）
乳がん検診	40歳以上の女性で、前年度町の乳がん検診を受けていない人または町の受診助成事業を受けていない人（2年に1回）

なぜ胃や大腸、肺がん検診は毎年受ける必要があるのでしょうか？

肺がん検診や胃がん・大腸がん検診は、がんの成長が早いため毎年受診する必要があります。また、肺がん検診でたんの検査（**かくたん細胞診**）の対象となった人は、レントゲンで見つかる肺がんと**かくたん細胞診**で見つかる肺がんはタイプが異なるので、ぜひ受けていただきたいと思います。

すごいな！むし歯のない子



はる
武藤 遙ちゃん
(上野尻)



りお
八島 凜桜ちゃん
(1町内)

7月21日、3歳児5人を対象に健康診査を行った結果、2人にむし歯がありませんでした。

日本人の死因第1位は「がん」であり、令和2年の町の統計では死因第4位となっています。定期的に検診を受け、早期に異常を発見して治療を行うことで、体への負担を軽減し、根治の期待も高まります。「異常あり」や「要精検」となった場合は怖がらず、自分のため、家族のためにも必ず精密検査を受けましょう。

